

小学校第6学年道徳の時間学習指導案

日時 平成25年11月22日(金)

指導者 教諭 今村 愛

- 1 主題名 広い心 2-(4) 謙虚・寛容
資料名 「やっぱり気になる」(文溪堂)

2 主題について

(1) ねらいについて

異なる意見や立場の人をおもんばかったり、交流したりすることが苦手な子どもは少なくない。意見の違いからトラブルになることもある。この資料は、インターネットの掲示板を扱っているが、子どもの日常生活にも重なるものである。相手がなぜそのように考えるのか、なぜそのような言動を取ったのかを自分自身で振り返って考えることにより、広い心で相手を受け止め、理解し、大切にしようとする対応が可能となる。多様な価値観が交錯している日常生活の中で、相互に人間性を認め合い、高め合うためには、常に謙虚な心で相手に接し、理解しようとするのが大切である。このことは、いじめを生まない風土や環境を醸成するためにも重視すべき内容である。

(2) 児童の実態

※ 省略

(3) 指導にあたって

- 掲示板が些細な言葉のやりとりからけんかになったり、否定したりする文章等で収拾のつかない状態になる模擬画面を見せる。
- 文章にするとニュアンスが伝わりにくく、書き手が軽い気持ちで使う言葉が、相手を傷つけてしまうことがある。そこに気づかせるために、声に出して明らかにしながら、それぞれの立場に立って考えさせていく。
- このような情報モラルとしての要素を重点化した授業を行う上では、「知っておいたほうがいいこととして」「将来、想定される場面として」というスタンスで資料を扱うようにする。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・電子黒板を利用して、掲示板のキャプチャー画像を提示し、資料の場面を具体的に把握させた上で資料の読み聞かせに入る。

②児童の活用

- ・タブレットPCで模造紙を活用し、お互いの考えを知り合うようにする。

4 本時の展開

(1) 目標 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を養う。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入	1 最近のインターネット情報についての出来事を想起させる。	・ ネット掲示板のやりとりの内容を提示し、本時の学への方向づけをする。	電子黒板 スライド
展開	2 資料前半を読み話し合う。 (T) 由衣は、どんな気持ちで掲示板でやりとりをしているのだろう。 (C) 書き込みって、楽しい。 (T) キキの返信を読んで、どんな気持ちになって、キーボードをたたいたのだろう。 (C) 嫌な感じだな。 3 資料後半を読み話し合う。 (T) 由衣は、画面をじっと見つめながら、どんなことを考えていたのだろう。 (C) この人とは、合わないな。 (C) 自分の言いたいことだけ。 (T) 由衣の中のどんな心が、好意的な文にさせたのだろう。	・ 地の文とメールの文の区別をしやすくするために、読み方を変えたり、カードを用意したりして、提示を工夫する。 ・ 自己理解や人間理解を十分していく。 ・ 由衣の気持ちを考え、自分やみんなの考えを知り合い、軽い気持ちで書き込んでしまう自分の感覚に気づかせる。 ・ 多様な発言を引き出し、葛藤の内容を整理して板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◆評価 (ワークシート・発言) 異なる意見をもつ人に対する複雑な思い、受け入れようとする思いについて、考えを深めることができた。</div>	資料 挿絵 模造紙 ワーク シート グループ
終末	4 教師の説話を聞く。 (C) 伝え手の思いが入ってこそ、情報となるんだな。 (C) 書き込みをしたり、人に伝えたりするときは、慎重になろう。	・ 「情報＝情を報せる」 ・ 立場や意見の違いがあるのは当たり前のことなので、寛容な態度のよさを心情的に理解させる。 ・ 情報は使い方を間違えなければ有用であることに気づかせ、情報化社会によりよく参画する心情を高めさせたい。	スライド

